

テスト問題を通して、  
授業で勉強していることって、こういうことだったのか!? という気付きを生徒に促して、  
「これは、他の場面でも使えそう!」という実感につなげる

■授業で学習していることって、こういうことだったのか! 他にも使えそう!①

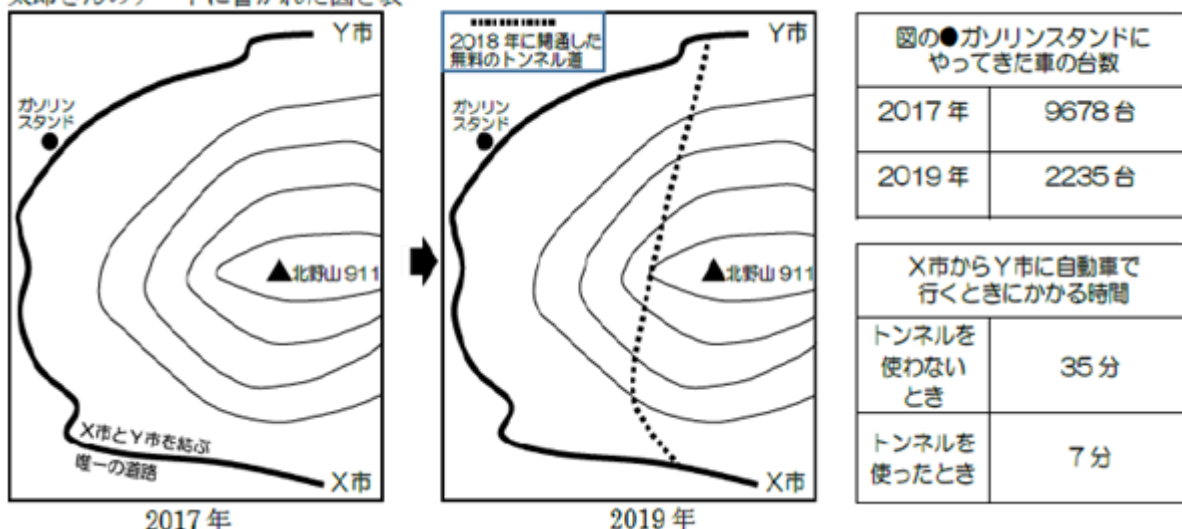
他地域との結びつきに着目して、中国・四国地方の産業や人々のくらしを学習した太郎さんは、  
交通網の発達、くらしや産業にどのような影響があったかについて、  
「まとめ：他地域との結びつきに着目して中国・四国地方を学習してわかったこと」として、  
①～④の4点をノートにまとめました。これを見ながら、各問いに答えなさい。

まとめ：他地域との結びつきに着目して中国・四国地方を学習してわかったこと

- ① 2地点を結ぶ交通網の発達、結ばれた地域の産業を発展させることがある
- ② 2地点を結ぶ交通網の発達、結ばれた地域の産業を衰退させることがある
- ③ 2地点を結ぶ交通網の発達、2地点の間にある地域の産業を発展させることがある
- ④ 2地点を結ぶ交通網の発達、2地点の間にある地域の産業を衰退させることがある

1：太郎さんは、まとめの①～④のいずれかを説明するために、ノートに架空の図と表をかきました。  
下の架空の図と表は、①～④のうち、どれを説明するためのイラストだと考えられますか。  
番号で答えなさい。

太郎さんのノートに書かれた図と表



架空のことや、未知の題材に当てはめて考えることで、  
「〇〇地方の知識」から「〇〇地方を通して身に付けた知識」というように、  
テストを通して学習したことが新たに価値付けられたり、意味付けられたりします。

■授業で学習していることって、こういうことだったのか！ 他にも使えそう！②

太郎さんは、この冬に初めて海外へ行くことになりました。訪問する国で、どのような農業や工業が盛んに行われているかを予想するために、授業でいろいろな見える一ぺを使いながら学習したことを思い出して、手がかりになりそうな資料を集めて、表にまとめてみることにしました。

未完成の表（＝Aの部分）を完成させなさい。

■どのような 農業 が行われているかを予想するために北野さんが集めた資料とその資料を集めた理由		
番号	集めた資料	その資料を集めた理由
1	その土地の気候（気温や降水量）がわかる資料（＝雨温図）	その土地の降水量や気温は、どんな農作物を栽培するかに関係する場合が多いから。
2	その土地の地形がわかる資料	河川や平野、山地がどのように広がっているかで栽培される農作物に影響する場合が多いから
■どのような 工業 が行われているかを予想するために北野さんが集めた資料とその資料を集めた理由		
番号	集めた資料	その資料を集めた理由
3	その土地で採掘される鉱産資源の量や種類がわかる資料	鉱産資源が採れるか採れないか、採れる場合、その鉱産資源の種類によって工業は変化するから
4	その土地がどんなところに位置するかわかる資料	A から

例えばこんな解答がありました。

- ・海に近いか、内陸国で、生産物の輸送手段、輸送量もかわり、何を生産するかを決め手になるから
- ・資源を輸出したり、製品を買ってくれたりする貿易相手国などが近くになるかどうかで何を生産すればいいとか、何が生産できるかが変わってくるから
- ・標高が高いと、生産できるものが限定されるから



この問題も架空のことを題材にしています。地理の学習をすべて終えた後に出題したものです。  
やはり、学習してきたことって、いろいろなことを考えるのに使えそうだという意識を高めることを意図しています。  
解答には、他の事象を考える際にも役立つ、**方法的な知識が発揮**されています。

■授業で学習していることって、こういうことだったのか！ 他にも使えそう！③

花子さんと太郎さんは関東地方で学習したことを、**農業**・**工業**・**商業/サービス業**・**暮らし**の四つに分けて、それぞれまとめました。空欄（A），（B）にあてはまるものとしてもっともふさわしいものを、下のア～オより一つずつ選び、記号で答えなさい。

【花子さんの関東地方のまとめ】		【太郎さんの関東地方のまとめ】	
<p><b>暮らし</b></p> <p>都心部には人口や企業なども集中して地価も高くなり、市街地は周辺部に拡大している。</p>		<p><b>暮らし</b></p> <p>都心部への出勤、通学時間ができるだけ短くなるように、都心部とつながる鉄道路線の駅近くに、新しい市街地が周辺部に拡大している。</p>	
<p><b>農業</b></p> <p>茨城、千葉、栃木、群馬、埼玉などでは、人口の多い巨大消費地をターゲットにした新鮮な作物の生産が盛んである。</p>	<p><b>工業</b></p> <p>人口密度が比較的低く、工場立地に余裕のある工業地域の出荷額が追い抜いている。</p> <p>東京や周辺の県では巨大消費地を対象にした印刷業や、食品工業も盛んである。</p>	<p><b>農業</b></p> <p>周辺部と都市部が高速道路などで結び付いているので、新鮮さが大切な作物を、鮮度を保ったまま消費地に運ぶことができる。</p>	<p><b>工業</b></p> <p>工業出荷額が内陸部で伸びてきている。高速道路によって内陸部と臨海部の港、空港などにつながったことが原因の一つである。</p> <p>船舶を利用した輸出入に適した東京湾岸の埋立地には、製鉄所や火力発電所、石油化学コンビナートが並ぶ。</p>
<p><b>商業・サービス業</b></p> <p>関東地方では、たくさんの消費者や国内外の観光客向けの、ものやサービスを提供する企業や店舗、施設が多く並ぶ。生産品販売、教育、医療、情報、飲食、娯楽、観光、宿泊、運送…</p>		<p><b>商業・サービス業</b></p> <p>高速道路や鉄道などの交通網の発達によって、東京以外の周辺県にも大型ショッピングセンターやアウトレットモールなどの商業施設が並ぶ。また、通信販売を行う企業や運送業者の倉庫も高速道路沿いや鉄道沿いにあり、そこから運ばれている。</p>	
<p>（ A ）が関東地方の農業や人々の暮らしに影響を与えていることが分かりました。</p>		<p>（ B ）が関東地方の農業や人々の暮らしに影響を与えていることが分かりました。</p>	

ア：山脈や川、平野などの地形  
 イ：降水量や気温といった気候  
 ウ：都市部と周辺部までの距離  
 エ：交通網の発達  
 オ：人口の多少や人口密度、人口分布

みんな同じ視点で関東地方を学習すると、みんな同じような関東地方になり、生徒はそれを“覚えておかなければならないこと”と認識していませんか。

この問題は、「同じ地域をまとめているのに、太郎さんと花子さんにちがいがあるのはどうしてか」を問うものです。

何を視点にその事象をとらえるかで、見え方が変わるということの自覚を促したり、**授業で学習したことを覚えることと、使えるようになること、生きていくうえで大切なことってどちらなのか、再考を促したりする目的で出題しました。**

もちろん授業では見える一ぺを用いて、多様な視点から事象を捉える訓練も行ったうえでの出題でした。